

〈2日目の判定と主な判定理由〉

【C班】

- 信州「食」の魅力向上 (2600万円)
 - ＜ご当地料理発信＝不要、食フェア開催など＝要改善＞
 - ◆民間との連携を再構築するべき
- 信州農産物マーケティング戦略推進 (714万円)
 - ◆収支バランスの取れた企画立案を
- 環境にやさしい農業総合対策 (4135万円)
 - ◆農家の認証制度は民間に任せコスト削減を
- 地域森林計画樹立 (3111万円)
 - ◆市町村の協力を得た方がよい
- 県デジタルアーカイブ推進 (4256万円)
 - ◆民間とは異なる内容にするべきだ
- 生涯学習情報提供システム (339万円)
 - ◆民間の方が効率的で満足度が高い

＜要改善＞
 ＜要改善＞
 ＜要改善＞
 ＜要改善＞
 ＜不要＞

【D班】

- 技術専門校職業訓練 (6億8800万円)
 - ◆県民のニーズに合っていない
- ジョブカフェ信州運営 (6090万円)
 - ◆ハローワークとの役割分担を明確に
- 運輸事業振興助成補助 (2億8600万円)
 - ◆運輸業界の自助努力も必要
- 道路愛護活動促進 (2983万円)
 - ◆活動の業務が多すぎる
- 河川愛護・アダプトプログラム (3348万円)
 - ◆2事業を早急に一本化した方がよい
- 砂防 (59億7800万円)
 - ◆事業のプロセスや効果を発信してほしい
- 県営住宅管理 (21億4600万円)
 - ◆市町村との協力を

＜要改善＞
 ＜要改善＞
 ＜要改善＞
 ＜要改善＞
 ＜要改善＞
 ＜現行通り＞
 ＜要改善＞

(※カッコ内は本年度当初予算額)

事業選定など課題

お役所用語に苦言も

最終日の信州型事業仕分けは、仕分け人が強い口調で県の担当者へ詰め寄るといった場面もなく、淡々と議論が進んだ。

C班で最後に仕分けをした「生涯学習情報提供システム事業(信州らんらんネット)」

D班が行った県内の技術専門校による職業訓練事業の仕分けで

「は、厳しい雇用環境に、お役所用語への苦言も、企業や個人のボランティア活動として、道路や河川など公共の場所の環境美化活動を

「使は、厳しい雇用環境に、お役所用語への苦言も、企業や個人のボランティア活動として、道路や河川など公共の場所の環境美化活動を

「は、厳しい雇用環境に、お役所用語への苦言も、企業や個人のボランティア活動として、道路や河川など公共の場所の環境美化活動を

「は、厳しい雇用環境に、お役所用語への苦言も、企業や個人のボランティア活動として、道路や河川など公共の場所の環境美化活動を



「意味

「が分かりにくい」との指摘があった。

県担当者(手前)に質問する仕分け人ら。松本市の県松本合同庁舎で